

■ 編集委員

池淵 研二* (委員長)

赤塚 俊隆* 伊崎 誠一* 小山 勇* 名越 澄子* 仁科 正実 町田 早苗 松下 祥*

渡辺 修一* Chad L Godfrey (*Associate Editor 兼任, 五十音順)

■ Associate Editor

池田 正明 太田 敏男 永井 正規 萩原 弘一 (五十音順)

■ 編集後記

朝からの猛暑と夕方の落雷, いよいよ暑い夏の到来です. 蝉の声も大きくなってきました. 日中はアブラゼミとミンミンゼミが大合唱しますが, 毛呂構内では朝晩にヒグラシがちょっと涼しげな鳴き声を提供してくれ, また周囲の山々が近くに見えることもあり, ちょっとした涼を感じるタイミングもあります. 昨年, 久しぶりに蝉の幼虫が夕方から夜にかけて木を登り, 数時間かけて羽化する様子を観察する機会がありました. 殻の背中を破ってエビ反りになって出てきたばかりの蝉は, やや緑色の混じった白い半透明の羽を畳んだ状態から徐々にひろげて, 少しずつ透明に変化させて体全体も大きくなっていきます. 大人も子供も十分楽しめる姿でした.

さてそんな暑い中, 7月25日に第9回学内グラント受賞者成果発表会を開催することができました. 本号にはその学内グラント終了時報告書と終了後報告書を18件ずつ掲載させていただいています. 成果発表会では講演会形式で発表していただくには人数制限があり, いつも受賞者全員の中から候補を絞り込むため思案が必要になっています. できるだけ各キャンパスから均等に発表者を選ばせていただき, 川越クリニックを含めた4会場から同時衛星中継で臨場感あふれる報告会になればと願っています.

第3回成果発表会から大学院最新医学特別講義のコマとして認定していただいております. 以来大学院生が20名以上参加しています. 今回から大学院生とベテランと2名で司会役を務めていただく試みを開始し, できれば定着させていきたいと考えています. どのような研究が学内グラントを受賞しているかを目の前で感じていただき, 大学院生が自らの研究へ生かしていけるよう願っている次第です.

本号にはもう一つの試みとして, 埼玉医大の3キャンパスで行われている「先進医療」を紹介する特集を設けました. 次号にも継続する予定です. 今後, 3キャンパスで展開されている「再生医療」を紹介するコーナーを企画したいと思っています. ご期待下さい.

(池淵 研二)

埼玉医科大学雑誌

<http://www.saitama-med.ac.jp/jsms/>

第41巻 第1号

編集責任者

池淵 研二

平成26年8月15日 印刷

平成26年8月30日 発行

発行所

埼玉医科大学 医学会

350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

電話 049(276)2102/2030 (直通) FAX 049(276)1964 E-mail: igakkai@saitama-med.ac.jp

郵便振替 00540-6-19727

制作

株式会社アテネデザイン

東京都港区三田1-11-19 小宮ビル2階 電話 03(3456)5741(代) <http://www.atene.co.jp>